

DAIFUKU

Automation that Inspires

ダイフクPROFILE
2021

ダイフク
PROFILE
2021

会社概要	1
社是・経営理念	2
中期経営計画「Value Transformation 2023」	3
沿革	8
マテリアルハンドリングとは	16
6つの主要事業	17
主要製品	18
知的財産活動	26
業績推移(連結)	27
株式情報	32
情報開示	34
コーポレート・ガバナンス	35
役員一覧	37
従業員との関わり	42
環境貢献	43
グローバル展開	44
国内拠点・海外支店	45
海外現地法人	46
業界情報	48
日に新た館	49

※文中の金額：単位未満の端数を切り捨て
 ※文中のパーセンテージ：一部四捨五入し、合計が100%となるよう表記

事業	マテリアルハンドリングシステムの総合メーカー 物流ソリューションの提供など
商号	株式会社ダイフク(Daifuku Co., Ltd.)
設立	1937年5月20日
資本金	318億65百万円(2021年3月31日現在)
代表者	代表取締役社長 下代 博
従業員数	11,697人(グループ計/2020年度末)
上場証券取引所	東京証券取引所第1部(証券コード:6383) (「JPX日経インデックス400構成銘柄」に選定)
格付	発行体格付 A[安定的] 短期債格付 a-1 (格付投資情報センター(R&I))
2020年度業績	(2020年4月1日～2021年3月31日)
連結売上高	4,739億2百万円 海外売上高比率 65% サービス売上高比率 25%
営業利益	445億66百万円
年間配当金	1株当たり80円

トータルサポート体制

ダイフクの強みは、コンサルティング、システム構築から、生産、据え付け、長期安定稼働を支えるアフターサービス、リニューアルまで、トータルサポート体制を構築していることです。

マテリアルハンドリングシステムを構成する主要な製品を自社で開発、生産することにより、世界に広がるお客さまにご満足いただける最速・最良のソリューションを提供し、お客さまの競争優位性を押し上げています。



〈社是〉



今日の「われ」は
 昨日の「われ」にあらず
 明日の「われ」は
 今日の「われ」とどまるべからず

〈経営理念〉 (2021年10月1日改定)

モノを動かし、心を動かす。

ダイフクは、マテリアルハンドリングを核とする「モノを動かす技術」で、心豊かに生きられる社会を創造します。

私たちは、

- (1) 人と環境への負荷を最小化し、人権の尊重と責任あるものづくりを実践することで、持続可能な社会の実現に貢献します。
- (2) 世界のお客さまと誠実に向き合い、革新的技術と最適最良のソリューションでスマート・ロジスティクスを実現します。
- (3) 多様性を尊重する自由闊達な企業風土のもと、一人ひとりが変革に挑戦します。同時に、経営基盤を強化し透明性の高いグローバル経営を行います。

〈グループ行動規範〉

基本姿勢

- ・私たちは、法令・社会規範や倫理に照らして、正しく行動します。
- ・私たちは、事業活動のあらゆる局面において、なによりも安全を優先します。
- ・私たちは、「日新」の気持ちを常に忘れず、たゆまぬ挑戦と変革を続けます。

▶ 「Value Transformation 2023」コンセプト

1. DX²による提供価値の変革

$DX^2 (DXスクエア) = Digital Transformation \times Daifuku Transformation$

DX (Digital Transformation) を推進するとともに、ダイフクグループ自身の変革 (Daifuku Transformation) に取り組み、お客さまをはじめとするステークホルダーに対する提供価値を変革していきます。

2. ニューノーマル (新常态) 下における新たな価値創造

前例にとらわれない柔軟で創造性豊かな発想力と既存の枠組みを変革していく実行力により、新たな価値創造が求められる社会において更なる飛躍を目指します。

3. 持続可能な社会への貢献

ESG (環境・社会・ガバナンス) やサステナビリティ (持続可能性) などへの取り組み推進の観点から、ダイフクグループでは、中期経営計画とサステナビリティアクションプランを経営戦略の両輪に位置づけ、それらの実行を通してSDGs (国連の持続可能な開発目標) の達成に貢献していきます。

「Value Transformation 2023」の概念図



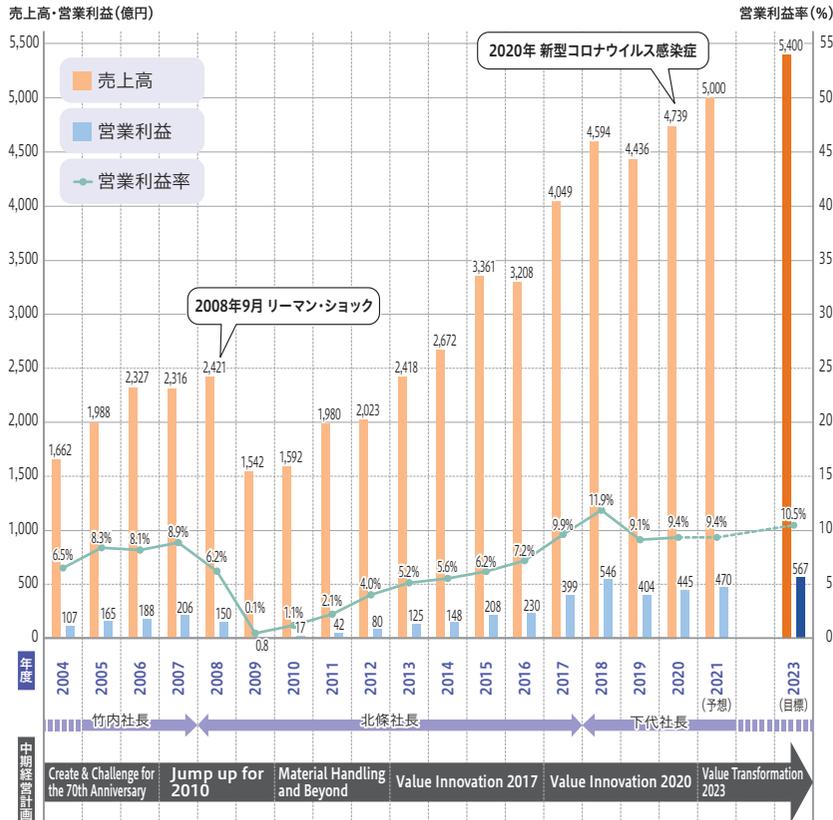
▶ 経営目標

「Value Transformation 2023」の目標は以下の通りです。

最終年度の目標	売上高	5,400億円
	営業利益率	10.5%
	ROE	10%以上(各年度)

株主さまへの利益還元策としては、2021～2023年度の3か年の平均で連結配当性向30%以上を目指します。

▶ 売上高・営業利益の推移



▶ テーマと事業戦略

背景となる外的・内的環境

市場環境

eコマースのグローバルでの拡大
自動化ニーズの多様化

事業環境

DXの進展
新興競合企業の台頭

経営環境

M&Aによる海外グループ会社の増加
アナログ業務の見直しとデジタル化の加速

社会環境

ステークホルダー・エンゲージメントの向上
事業活動を通じた社会的責任の遂行

4つのテーマと事業戦略

事業領域

- 1 グローバル化の加速
→グローバル市場への戦略的投資
- 2 既存事業の強化
→次世代ビジネスモデルの創出
- 3 新規領域の創出
→有望な新規領域への投資

収益性

- 1 製品力の強化
→先端技術活用による提供価値の変革
- 2 生産性の向上
→グローバルベースでの価格競争力の強化
- 3 生産体制の強化
→デジタル化によるものづくり改革の推進

経営基盤

- 1 グループ経営の再構築
→グループガバナンスの強化
- 2 業務運営の変革
→顧客志向での業務の効率化・付加価値向上
- 3 人事制度改革
→多様な人材マネジメント制度の採用

ブランド

- 1 提供価値の変革
→TOP※イノベーションでスマート・ロジスティクスを提供
- 2 社会価値の創出
→社会インフラを担う企業として仕組みの強化
- 3 社員意識の変革
→グローバルベースでの企業カルチャーの醸成

※TOP: Time・Occasion・Place

▶ 持続可能な社会に向けて

当社は、持続可能な社会の実現と企業価値向上を目指すため、事業活動を通じて取り組むべき当社グループのマテリアリティ(重要課題)を特定しました。SDGsが掲げる17の目標のうち、特に「8. 働きがいも 経済成長も」「12. つくる責任 つかう責任」との関連性が高くなっています。また、重点的に取り組む5つのテーマのもと、「サステナビリティアクションプラン(2021~2023年度)」を策定しています。

ダイフクが取り組む5つのテーマと18のマテリアリティ

テーマ	関連するSDGs	マテリアリティ
スマート社会への貢献	8 働きがいも 経済成長も 9 産業と資源効率の 改善をつくる	・革新的技術開発、発明促進 ・新規領域の創出 ・スマート・ロジスティクスによるお客さまニーズへの対応
製品・サービス品質の維持向上	8 働きがいも 経済成長も 12 つくる責任 つかう責任	・グローバル化による生産の最適化 ・製品品質、製品安全の追求
経営基盤の強化	8 働きがいも 経済成長も 11 住み続けられる まちづくりを 12 つくる責任 つかう責任 13 気候変動に 具体的な対策を 16 平和と公正を すすめる	・ガバナンスの強化 ・コンプライアンスの徹底 ・リスクマネジメント ・サプライチェーンでの責任ある調達 ・情報セキュリティの強化 ・透明性の高い情報開示と戦略的なコミュニケーションの実践
人間尊重	3 すべての人に 健康と福祉を 4 質の高い教育を みんなに 5 ジェンダー平等を 実現しよう 8 働きがいも 経済成長も 10 人や国ごとの 格差をなくす	・労働安全衛生の徹底 ・ダイバーシティ&インクルージョン ・働きがいのある職場環境の整備 ・人財の育成 ・人権配慮
事業を通じた環境貢献	6 安全な水とトイレを 世界中に 7 エネルギー 供給に 気候変動に 対応した 技術革新を 9 産業と資源効率の 改善をつくる 12 つくる責任 つかう責任	・事業運営における環境配慮 ・環境配慮製品・サービスの拡充

「サステナビリティアクションプラン」の詳細はこちら
www.daifuku.com/jp/sustainability/management/plan



▶ ダイフク環境ビジョン2050

当社は、2050年に「マテリアルハンドリングシステムが環境負荷ゼロで動く世界を目指す」を掲げ、2030年までの重点領域と目標を設定しています。



<2030年までの重点領域と目標>

気候変動・エネルギー対策の加速

製品稼働におけるエネルギー削減やサプライヤーとの連携により、バリューチェーンでのCO₂削減に取り組めます。

グループ全体での省エネルギーの推進や再生可能エネルギーの導入により、パリ協定に準じたCO₂削減に取り組めます。

- ・環境貢献物件^{※1} 売上高比率70%以上
- ・CO₂削減貢献量^{※2} 累計30万トン以上
- ・自社CO₂排出総量削減25%以上(2018年度比)
- ・サプライチェーンCO₂削減プログラム参加企業率50%以上

資源循環の促進に向けた基盤整備

ライフサイクルを通じた資源循環を進めるため、製品のリサイクル可能率を高めます。すべての生産拠点において資源循環の仕組みを構築します。

- ・新製品のリサイクル可能率90%以上
- ・グローバル生産拠点での資源循環^{※3}

※1 当社エコプロダクツなどを通じて、お客さまに納入したシステムで環境面から貢献したものを。

※2 お客さまに納入した製品・サービスから排出されるCO₂排出量を、基準年度である2011年時点の製品・サービスによるCO₂排出量から差し引いたもの。

※3 生産拠点における資源循環の実態を把握した上で目標を設定し、2022年4月に開示します。

▶ 産業発展に貢献するダイフク(1)

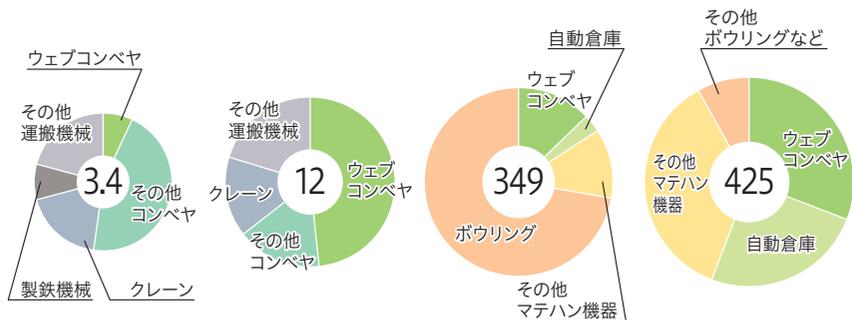
事業環境	第2次世界大戦	焦土からの再建	乗用車生産本格化	高度成長期	レジャーブーム	ボウリングブームの終えん		
年	1937年	1944年	1947年	1957年	1966年	1968年	1971年	1973年
トピック	坂口機械製作所として創業	総合商社の傘下入り、兼松機工と改称	大福機工に改称※1	米国Webb社と技術提携	わが国初の自動倉庫	ボウリングの利益でコンピュータや開発に積極投資	わが国初の冷凍自動倉庫	
製品	鍛圧機械起重機	港湾荷役運搬機器	チェーンコンベヤ	ボウリングマシン メッシュボックスパレット	オンライン制御自動倉庫 バッテリーフォークリフト			
経営指針	1946年 契約は必ず守り、納期厳守。製品に責任を持ち、アフターサービスを充実させる。人材、特に技術者を集める。		ウェブコンベヤを担いで自動車と中心しよう	社は「日新」を制定		成長と充実		
提供価値			自動車の大量生産		電機、化学などの工場自動化	消費生活レベル向上		
スローガン		荷役運搬機械武芸百般	マテハン※2の大福		無人への挑戦			

[太字:現在も生産]

※1 大阪と福知山に工場があったこと、中国語でめでたい言葉であることなどから命名。

※2 マテハン:マテリアルハンドリング

▶ 事業ポートフォリオの革新(機種別売上高) (億円)



ダイフクは、第2次世界大戦後の混乱期、高度成長から安定成長への転換期で大きな試練を乗り越えてきました。

1957年、創業製品のクレーンや製鉄機械に見切りをつけ、1960年度には米国Jervis B. Webb Company (Webb社)が開発したチェーンコンベヤを中心とする体制を確立しました。Webb社は1919年創業で、米国のモータリゼーションを支えてきた老舗企業。後に当社グループの一員となります。

1972年度、ボウリングマシンが売上高の72%に達しました。ボウリングマシンは構造的にマテハンの応用で、コンベヤなどの受注品と異なり、計画生産品であることが経営上の魅力。ボウリングブームに乗って急成長しましたが、ブーム終息後は、本来のマテハンシステムに特化した事業活動に回帰しています。

年度 1956

1960

1972

1981

▶ 産業発展に貢献するダイフク(2)

事業環境	安定成長期へ	世界一の自動車生産国に	「ロボットが ロボットを作る」	アジア経済危機	インターネットの普及		
年	1975年	1980年	1984年	1991年	1994年	1999年	2002年
トピック	コンテック設立 滋賀事業所の 操業開始	初の現地法人 を米国に	株式会社ダイフク に改称	ローラコンベヤ 開発・販売	日に新た館オープン (49ページ) ISO 9001 認証始まる	滋賀・小牧事業所が ISO 14001 認証を取得	
製品	仕分け機 プラスチックパレット 中・軽量棚、テレリフト(11ページ)	洗車機(25ページ)	クリーンウェイ(22ページ) クリーンストッカー(22ページ) 自動車工場用 モノレールシステム	デジタル表示式 ピッキングシステム フレキシブルドライブ システム(23ページ)	小物高速自動仕分け機 世界初の非接触給電システム	第5世代液晶パネル 搬送システム	[太字:現在も生産]
経営 指針	省力化は第3次産業でも 必要である				広く国内外に、最適・最良 のマテリアルハンドリング システム・機器および電子 機器を提供し、業界の 発展に貢献する。	世界最適地生産 最適地調達	
提供価値		スーパーや図書館の自動化	半導体工場の自動化				
スローガン		FA※のダイフク		Advanced FA※	Logistics Navigator	IT革命・物流革命に 挑戦するダイフク	

▶ 時代のニーズに即した業種別売上高

(億円、()内は構成比)

年度	1996※	2005	2009	2013
業種	FAの高度化	液晶の普及	航空旅客の増大	eコマース本格化
自動車・自動車部品	257(20%)	542(27%)	237(15%)	589(24%)
エレクトロニクス	242(19%)	637(32%)	456(30%)	593(25%)
その他製造業	377(30%)	263(13%)	264(17%)	332(14%)
商業・小売	145(12%)	304(16%)	280(18%)	459(19%)
運輸・倉庫	94(7%)	141(7%)	92(6%)	84(3%)
空港	- (-)	- (-)	104(7%)	205(9%)
その他	156(12%)	98(5%)	106(7%)	153(6%)
合計	1,273	1,988	1,542	2,418

※1996年度のみ単体売上高

※FA: Factory Automation

ダイフクは、ノウハウや技術を蓄積、ミックスし、新しい産業分野に応用することで、イノベーションを継続しています。

1980年代、半導体工場のクリーンルーム向け搬送システムの需要が急増。中核機種天井走行モノレール(写真1)は、病院のカルテや検体、図書館の蔵書、空港の書類などの搬送に使われる「テレリフト」(写真2)を発展させたものです。

2000年代には、液晶パネル工場向けのビジネスを、また2007年には、M&Aで空港向けシステムを加えました。

近年は、商業・小売や運輸・倉庫分野の売上高が年々拡大。コンビニエンスストア、総合スーパー、医薬卸、百円ショップ、eコマースなど、幅広い流通形態に合ったシステムを開発しています。

写真1



写真2



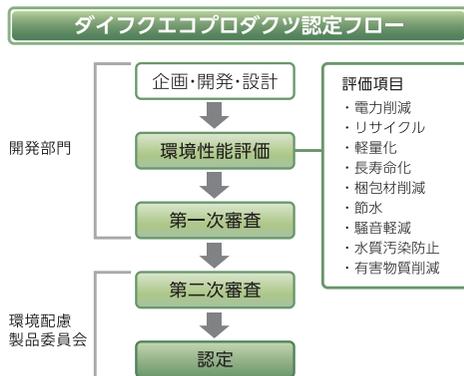
▶ 産業発展に貢献するダイフク(3)

事業環境	グローバル化	リーマン・ショック		東日本大震災	中国のGDPが世界2位に	新興国生活水準の向上	
年	2007年	2008年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年
トピック	滋賀事業所を世界最大級のマテハン生産拠点に 米国Webb社を子会社化 世界の生産拠点で ISO 9001と14001を取得	以降M&Aが 活発に(30ページ)		北米事業統括 会社を設立		米国Wynright社をM&A 滋賀県最大級 メガソーラー完成	国連グローバルコンパクト に署名 ニュージーランド BCS社をM&A
製品	E-DIP	高能力自動倉庫 DUOSYS	農産物選果システム	世界最速の空港 手荷物搬送システム eye-navi	半導体工場用窒素 パーズシステム シャトルラック(下・18ページ)	エリア管理システム スマートストックカーブアトロ SPDR(23ページ) [太字:現在も生産]	
経営指針		質、量ともに世界No.1の マテハン企業へ		「5つの新しい」に挑戦 (市場・製品・生産方法・ グローバルパートナー・事業)	“オンリーワン” を生み出そう	安全はトッププライオリティ。 安全文化を世界に広げる	
提供価値		環境にやさしい、安全で、安心な商品・システム				お客さまの競争優位性を押し上げる	
スローガン	Material Handling and Beyond モノを動かす。心を動かす。					Always an Edge Ahead	

▶ ダイフクエコプロダクツ(環境配慮型製品)

2011年に「ダイフク環境ビジョン」を策定し、目標達成のための施策として2012年11月にダイフクエコプロダクツ制度を設けました。

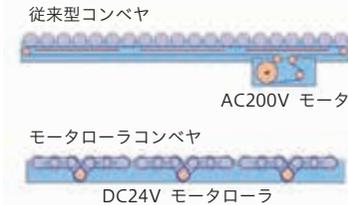
これは、当社独自の基準により製品の環境性能を評価・認定する制度で当社グループの全製品を対象に、省エネルギー・省資源・公害防止の観点から9つの項目について性能評価を実施しています。2021年5月現在、70製品を認定済みです。



ケース自動倉庫「シャトルラック」
eコマースの配送センターなどに使われる自動倉庫。軽量の台車で荷物を搬送するため、従来の自動倉庫と比較して消費電力を約60%削減。



モータローラコンベヤ
高性能モータを内蔵し、搬送時に必要な場所だけ駆動するコンベヤ。従来製品と比較して生産性を大幅に向上させるとともに消費電力を約20%削減。



▶ 産業発展に貢献するダイフク(4)

事業環境	ネット通販の普及		物流現場の人手不足		新型コロナウイルス感染症拡大		
年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
トピック			資本金318億円に	ファーストリテイリング社と「戦略的グローバルパートナーシップ」締結	インドVega社をM&A 空港事業向けソフトウェア関連企業2社をM&A TCFDの提言への支持を表明		ドイツAFT社と業務提携
製品		電動フォークリフト向け非接触充電システムD-PAD	第10.5世代液晶生産ライン向けシステム クリーンストッカー	ドライブスルー型トラックステーションTRTS(トータス)			超高密度パレット自動倉庫シャトルラックD ³ [太字:現在も生産]
経営指針	真の世界No.1 マテハングローバル企業へ				スピード感のある改革	グローバル競争力の強化	
提供価値	お客さまの競争優位性を押し上げる						
スローガン	Always an Edge Ahead						

株式会社ファーストリテイリングと戦略的グローバルパートナーシップを構築

2018年10月、中長期的・包括的な物流に関する戦略的グローバルパートナーシップを締結。両社の豊富な知識と経験により、革新的で画期的な物流システムを構築します。



インドの物流システム企業をM&A

2019年4月、インドのVega Conveyors and Automation Private Limited (Vega社)の全株式を取得。アジア・オセアニア市場での事業拡大を見据え、インドにおける製品開発力強化を目指します。



空港向けデジタル事業の強化に向けソフトウェア関連企業をM&A

2019年8月、オランダのScarabee Aviation Group B.V.およびオーストリアのIntersystems(Asia Pacific) Pty Limitedを買収し、子会社化を発表。新たにスマートセキュリティレーンや統合情報システム分野に参入し、事業の多角化を図ります。



Scarabee社製 スマートセキュリティレーン

ドイツAFT Industries AGと業務提携

2020年12月、AFT社と業務提携契約を締結。AFT社が有する欧州での顧客基盤・技術・知見と、ダイフクのグローバルネットワークを活用し、世界各国の自動車メーカーへ積極的にアプローチします。



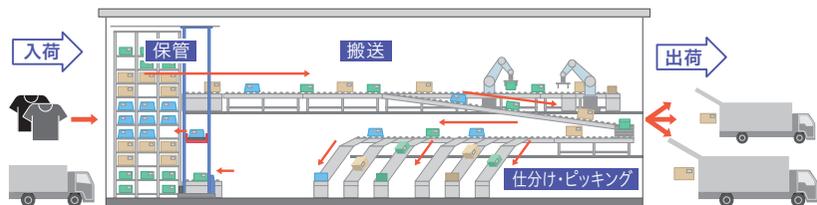
AFT社製 電気モノレールシステム

マテリアルハンドリング(マテハン)とは、「モノを効率的に保管・搬送・仕分けする」こと。それらの機能を持つ機械設備と、設備の動きを制御・管理するソフトウェアを組み合わせ、スムーズなモノの流れをつくる仕組みを「マテハンシステム」と呼びます。

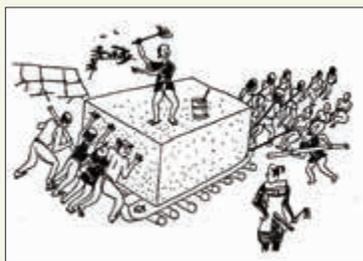
マテハンの使命は、重いモノを扱う重労働や単純作業から人を解放し、より創造的な仕事に取り組めるようにすることです。

ダイフクは、保管・搬送・仕分け各分野の主要製品を自社生産する世界唯一のメーカーとして、またシステムインテグレーターとしてお客様のニーズに応えています。

配送センターのイメージ図



古代ギリシャ時代に発祥、機械学のベースとなる



動力を人力に頼っていた時代のマテハン
(巨石の運搬)

出典: 運搬機械の前身 ダイフク

人類にとって、重い荷物をどう運ぶかは永遠のテーマです。

人間が定住を始めて以降、長く人力や牛馬の力に頼っていましたが、古代ギリシャ時代に数学や力学が盛んになる中で、「重いモノを動かす学問」として機械学が発祥しました。マテハンが、機械工学の源となったわけです。

その後、産業革命を通して蒸気・電気などのエネルギーを得て道具が設備に発展、20世紀後半にはコンピュータと結びついてより進歩しました。

イントラロジスティクス

一般製造業・流通業向けシステム

eコマースを含む小売・卸、運輸・倉庫などの流通分野を柱に、食品、薬品・化学、機械など幅広い業種にまたがっています。アジア・北米への海外拡充を推進中です。



クリーンルーム

半導体・液晶生産ライン向けシステム

お客様は、半導体と液晶業界です。売上高の約9割がアジア・北米など海外で、高度な技術が必要とされるため高いシェアを誇ります。



オートモーティブ

自動車生産ライン向けシステム

日系企業を中心に、米国、中国や韓国企業など世界の自動車メーカーに、プレス・溶接・塗装・組立・部品物流など、生産ラインの全域にわたって自動化システムを供給しています。



エアポート

空港向けシステム

空港建屋内に張り巡らす手荷物搬送ラインをはじめ、セルフ手荷物チェックインシステムやセキュリティシステム、空港内設備監視や制御など、幅広いソリューションを提供しています。



オートウォッシュ

洗車機・関連商品

主な製品は洗車機で、ガソリンスタンドやカーディーラー向けに節水、植物由来の液剤など、環境配慮型製品を提供しています。日本と韓国でトップシェアです。



電子機器

子会社のコンテックが、産業用パソコン、計測制御、ネットワーク関連製品、IoT関連システムなどを提供しています。デジタルサイネージ用コンピュータ、太陽光発電の計測・制御なども手掛けています。



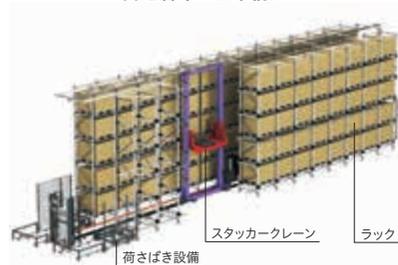
▶ イントラロジスティクス

一般製造業・流通業向けシステム

自動倉庫・荷揃えシステム

主要製品の自動倉庫は保管する製品の大きさ・重量によってパレット系、ケース系に分かれます。荷物の入出庫は、スタックークレーンにより行います。

自動倉庫の基本構成



パレット自動倉庫
「コンパクトシステム」

自動倉庫導入のメリット

- ▶ 省人・省力化
- ▶ 在庫管理精度・出荷スピードの向上
- ▶ 保管スペースの有効活用
- ▶ 多様な環境に対応(冷凍・防爆)

近年、通販やeコマースなど流通業から高能力かつ複合的なシステムの需要が増加しています。スタックークレーンに代わり、移載機能付き台車(シャトル)によって荷物の入出庫・搬送を行う高能力ケース自動倉庫の納入台数が伸びています。



ケース自動倉庫
「ファインストッカー」



高能力ケース自動倉庫
「シャトルラック」

仕分け・ピッキングシステム

通販や卸などの物流センターでは自動化・省人化を実現する仕分け・ピッキングシステムが採用されています。

デジタル表示機による位置や数量の指示に従い作業者が正確に商品を摘み取る方法(デジタルピッキングシステム)が多く採用されていますが、近年はロボットによるピッキングも増えています。ピッキングした商品は仕分けシステムにより店舗・方面別に自動で仕分けられます。



摘み取り式デジタルピッキングシステム
「デジタルピックシステム」



高速自動仕分けシステム
「サーフィンソーター」

ラックシステム

棚の移動により、保管スペースを有効活用でき、固定棚に比べて約2倍の格納効果が得られます。貸倉庫にも設置可能なレールレス方式や冷凍・冷蔵用、重量物用、長尺物用など、豊富なバリエーションがあります。



重量級移動棚
「移動ラック」

物流ソリューション紹介サイト「LOGISOL」

ロジスティクス・ソリューションサイト「LOGISOL」では、業種別ソリューション、製品情報、導入事例を分かりやすく紹介しています。(www.daifuku-logisticssolutions.com/jp)

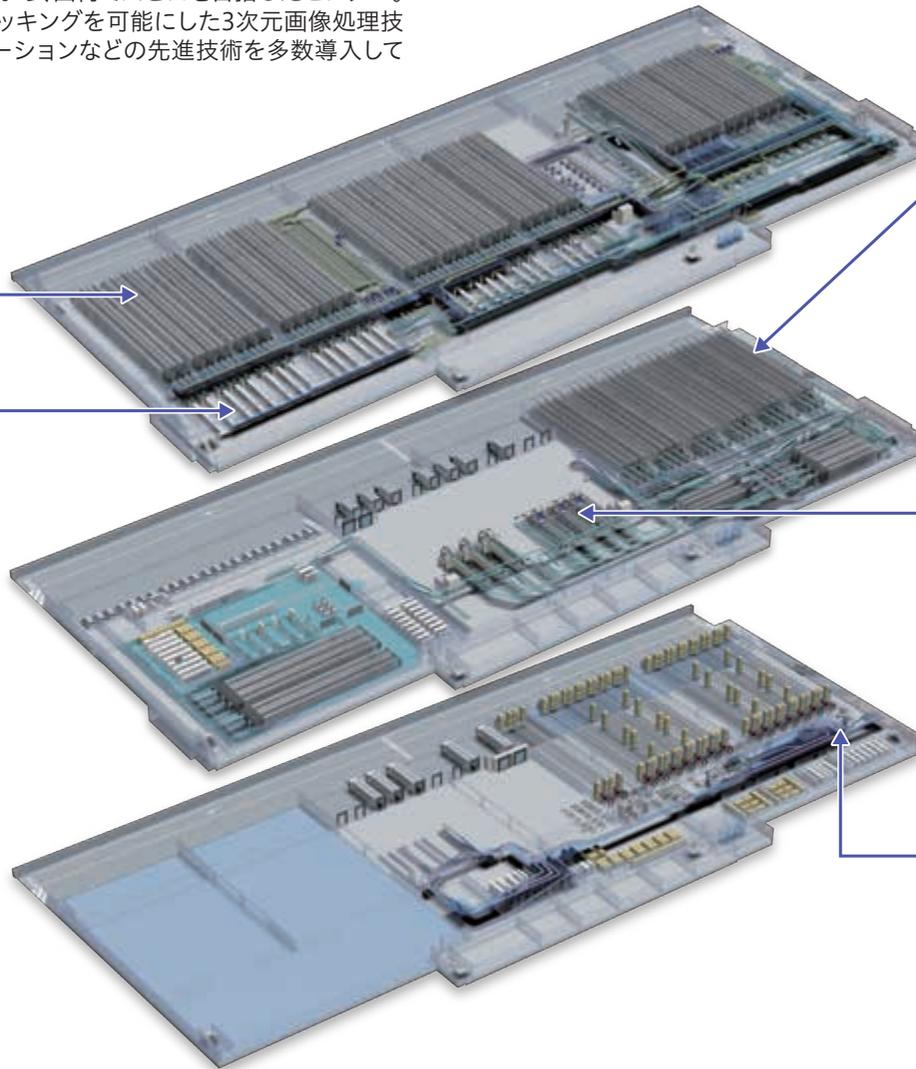
[納入事例]

先進技術を活用した最新物流センター

少子高齢化による労働力不足を見据えながら、出荷ミスゼロを目指したセンター。ロボットによる多品種・少量品のピースピッキングを可能にした3次元画像処理技術をはじめ、AIを活用した積付シミュレーションなどの先進技術を多数導入しています。



ピッキング自動倉庫
ピースピッキングを行うロボットにタイムリーに商品を供給



高能力ケース自動倉庫
ケース単位で出荷される異なるサイズの段ボールケースを保管



ケース積付ロボット
さまざまな荷姿のケースをスピーディーに積付け



ピースピッキングロボット
サイズや重さが異なるピース品をきめ細やかにピッキング

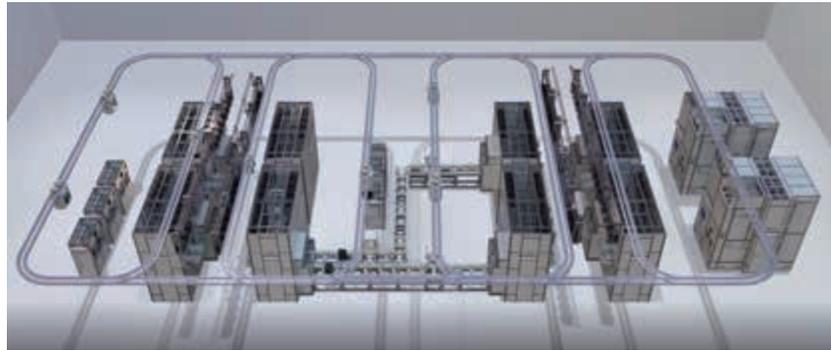


デパレタイジングロボット
自動倉庫から出庫されたパレット上の段ボールケースをピッキング

▶ クリーンルーム

半導体・液晶生産ライン向けシステム

半導体・液晶・有機EL工場にクリーンルーム専用の保管・搬送システムを提供しています。半導体工場では、総延長10kmにおよぶ走行レールが張り巡らされ、数百台を超えるウエハ搬送ビークルが24時間365日稼働しています。



クリーンルーム用搬送システム 「クリーンウェイ」

密閉型カセットに格納したウエハを天井走行台車が数百におよぶ複雑な工程を搬送します。摩耗子が発生しない非接触給電技術を活用しています。



クリーンルーム用保管システム 「クリーンストッカー」

半導体生産工程で、仕掛品を一時保管する自動倉庫。半導体の微細化加工に対応した、ウエハの劣化を防ぐ「窒素パージシステム」も開発しました。

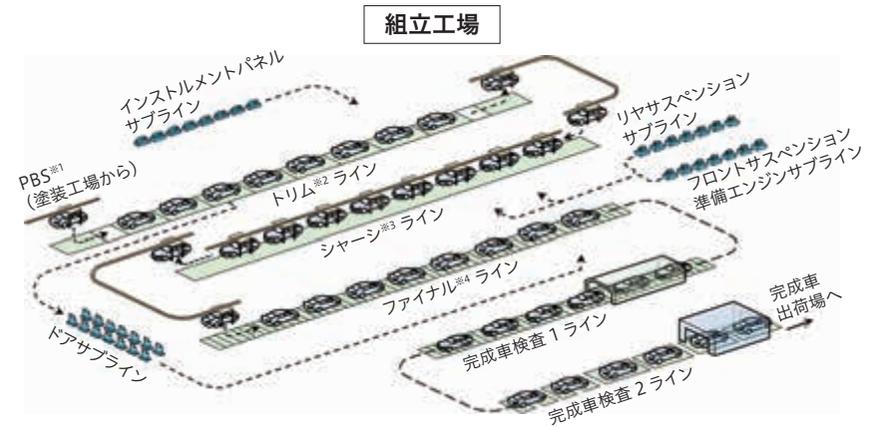


クリーンルーム事業部門サイト(www.daifuku.com/pro/efa)を公開しています。半導体・液晶生産ライン向けシステムのイメージ映像、各種製品・システムの紹介動画を掲載。

▶ オートモーティブ

自動車生産ライン向けシステム

プレス・溶接・塗装・組立など自動車生産工程の全域にわたり、自動化・省人化システムを提供しています。



※1 PBS: Paint Body Storage (塗装済み車体の保管)
※2 トリム: 各種部品を車体に取り付ける工程

※3 シャーシ: 足回り部分を車体に取り付ける工程
※4 ファイナル: 完成車に仕上げる工程

チェンレス搬送システム 「フレキシブルドライブシステム」

低速走行や振動の少ない安定した搬送が可能で、組立・加工ラインなどに最適な搬送システム。



部品用一時保管・仕分けシステム 「SPDR (スパイダー)」

自動車組立用の部品が入った多様な種類のケースの入出庫・仕分けを自動化することができるシステム。生産計画に応じたタイムリーな供給ができます。



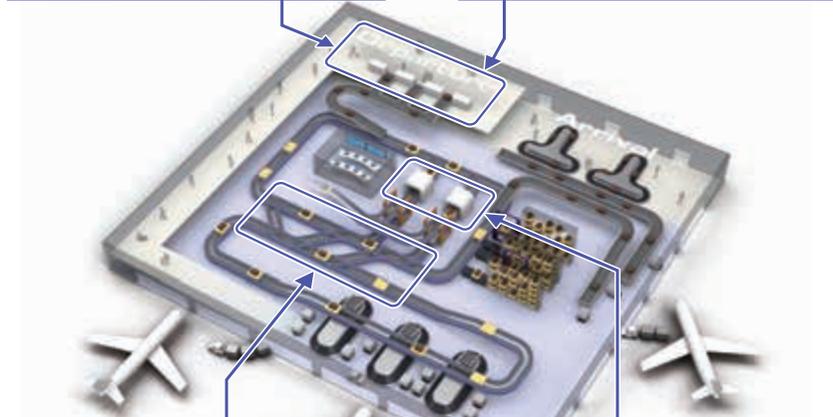
▶ **エアポート**
空港向けシステム

手荷物搬送・仕分けシステムを中心に、セルフ手荷物チェックインシステムやセキュリティシステム、空港内監視システムなどを世界の空港に提供しています。

セルフ手荷物チェックインシステム



空港情報管理システム



手荷物搬送・仕分けシステム



無人搬送式手荷物検査システム

エアポート事業部門サイト(www.daifukuattec.com) (英文)

▶ **オートウォッシュ**
洗車機・関連商品

洗車機

ガソリンスタンド、カーディーラー、コイン洗車場向けの洗車機。節水・静音タイプの門型洗車機やコンベヤ技術を応用した連続洗車機など豊富なラインアップを揃えています。



大型車両専用洗車機
「カミオン カスタム」

トラックやバスなどの洗車機。センサーの能力向上とブラシの動作最適化により、業界最短の洗車時間(約4分)を実現し、トラックドライバーの作業負担軽減を図ります。



洗車機・関連商品の販売会社ダイフクプラスモアのサイト(www.daifuku-carwash.jp)

▶ **電子機器**

産業用コンピュータ製品

高い信頼性、耐久性が求められる環境に最適なコンピュータ。FA、製造装置への組み込み、医療・エネルギー分野など、さまざまな業種・業界で活用されています。



IoT 機器製品

計測制御や通信システム構築向けの機器製品。FA、社会インフラ、再生可能エネルギー分野など、多くの産業で使用されています。また、製品の開発技術を生かし、クラウドサービスを含めたソリューションを提案・提供しています。



▶ ダイフクにおける発明考案の推進

当社では「発明考案の規定」を定めており、新規開発製品を中心に積極的な特許出願、権利化を図っています。特許は、出願してから登録されるまでに通常4年～6年かかるため、出願中特許の中から極めて優秀な発明考案に対して、「ダイフク発明大賞／発明賞」としてタイムリーな表彰を全社的に行っています。

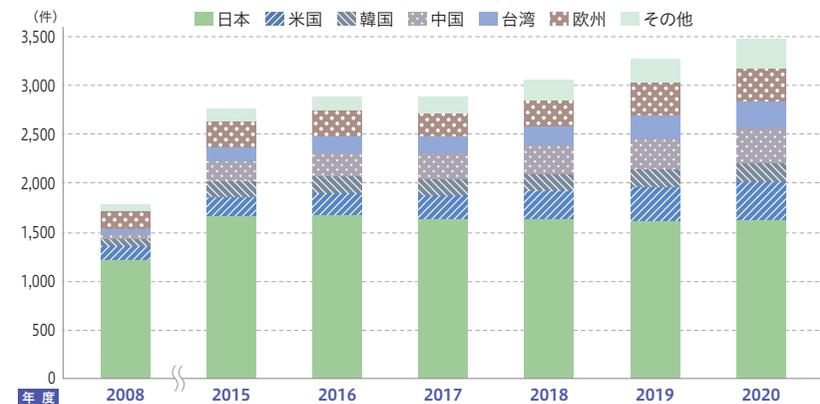
2020年度は、ダイフク発明賞に9件が選定されました。

技術開発基盤の強化に向け、「発明者数」の増加を目指しています。2020年度は148名(対前年度比 +30名)でした。

▶ 海外の特許登録件数

近年は海外への特許出願件数も増加傾向にあり、2021年3月時点において、世界30カ国以上で3,000件以上の特許を保有しています。特に中国、韓国、台湾といったアジア圏での登録件数が増えています。

▶ 地域別特許登録件数推移

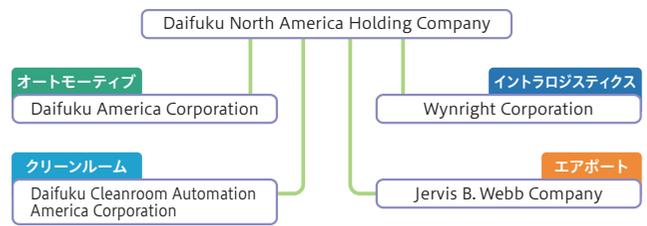


▶ 財務指標

(億円、網かけは過去最高値)

年度	2016	2017	2018	2019	2020
受注高	3,565	4,879	5,033	4,831	4,510
受注残	2,314	3,145	3,584	3,979	3,750
売上高	3,208	4,049	4,594	4,436	4,739
営業利益	230	399	546	404	445
営業利益率 (%)	7.2	9.9	11.9	9.1	9.4
経常利益	237	411	558	409	458
親会社株主に帰属する当期純利益	167	290	395	280	323
1株当たり当期純利益(円)	137	235	314	222	257
1株当たり配当金(円)	42	70	90	75	80
総資産	3,035	3,730	4,099	4,108	4,454
純資産	1,423	1,914	2,228	2,373	2,620
ROA (%)	5.6	8.6	10.1	6.8	7.6
ROE (%)	12.6	17.7	19.5	12.4	13.2
自己資本比率 (%)	45.8	50.4	53.3	56.7	57.7
営業活動によるキャッシュ・フロー	266	114	85	137	382
投資活動によるキャッシュ・フロー	-53	-56	59	-147	-61
財務活動によるキャッシュ・フロー	-44	134	-68	-183	-89
フリーキャッシュフロー	212	58	144	-10	320
従業員数(人) (うち、海外現地法人)	8,689 (5,536)	9,193 (5,936)	9,857 (6,459)	10,863 (7,312)	11,697 (8,045)
設備投資額	59	63	79	132	74
減価償却費	42	44	45	56	64
研究開発費	74	81	86	89	91
有利子負債	397	379	400	334	351

▶ セグメント別業績推移

報告セグメント	概要
ダイフク	マテリアルハンドリングシステム・機器、洗濯機などの製造販売の中核
コンテックグループ	産業用パソコン・インターフェイスボードなどの製造販売
DNAHCグループ	北米の事業を統括 
CFI ※	半導体メーカー向けのクリーンルーム内搬送装置の製造・販売
その他	上記以外の海外および国内子会社

※CFI = Clean Factomation, Inc.

(億円)

	年度	2016	2017	2018	2019	2020
受注高	ダイフク	1,711	2,159	2,314	2,183	1,841
	コンテック	156	164	163	168	153
	DNAHC	888	1,104	1,094	1,367	1,194
	CFI	112	299	417	238	310
	その他	697	1,151	1,051	874	1,010
	計	3,565	4,879	5,033	4,831	4,510
売上高※	ダイフク	1,458	1,869	2,025	2,044	1,993
	コンテック	154	157	163	163	162
	DNAHC	790	997	971	1,022	1,371
	CFI	119	212	342	326	305
	その他	682	853	1,108	939	896
	計	3,208	4,049	4,594	4,436	4,739
セグメント利益※ (親会社株主に帰属する当期純利益)	ダイフク	133	252	337	186	260
	コンテック	7	9	16	16	11
	DNAHC	35	28	4	62	60
	CFI	7	14	25	25	27
	その他	16	33	57	25	23
	計	167	290	395	280	323

※合計額は連結調整後

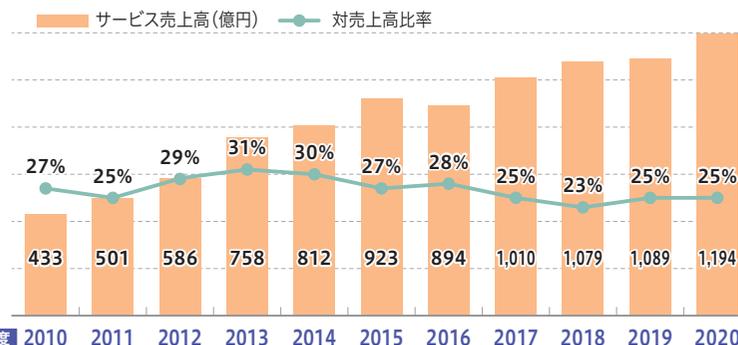
▶ 業種別売上高推移

(億円)

業種	年度	2016	2017	2018	2019	2020
自動車および自動車部品		604	735	686	684	801
エレクトロニクス		988	1,455	1,899	1,441	1,370
商業および小売業		535	721	717	862	1,155
運輸・倉庫		193	204	290	285	235
機械		76	64	93	135	112
化学・薬品		174	144	141	153	183
食品		124	120	118	131	177
鉄鋼・非鉄金属		38	37	45	53	44
精密機器・印刷・事務機		47	53	64	114	87
空港		283	301	355	419	412
その他		140	209	180	153	158
合計		3,208	4,049	4,594	4,436	4,739

▶ サービス売上高

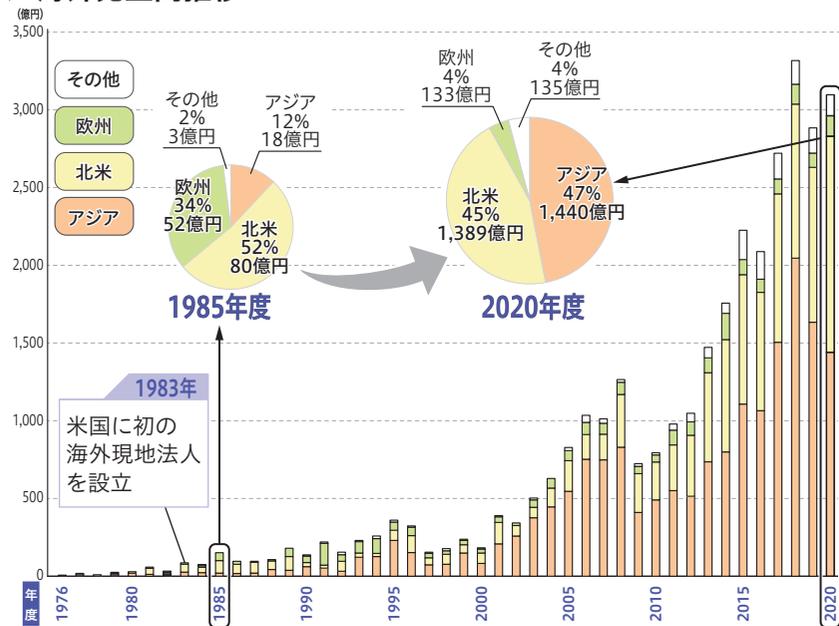
納入したシステム・製品を対象にした保守・メンテナンスなどによる売上高。幅広いサービスメニューを提供しており、安定的な収益につながっています。



アフターサービス

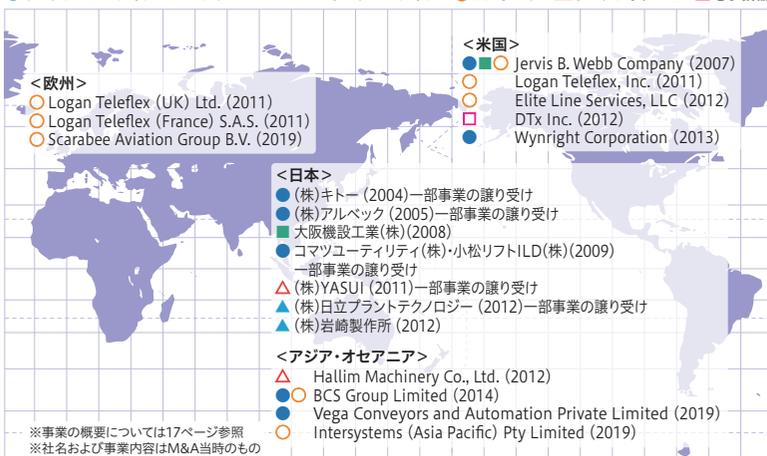
- ・定期点検
- ・システム保守契約
- ・安全技能教育
- ・ファシリティサービス
- ・トラブル対応
- ・パーツ供給
- ・リモートメンテナンス
- ・予約予報システム
- ・オンサイトサービス
- ・改造、リニューアル

▶ 海外売上高推移



▶ M&Aによる事業領域拡大(2000年以降)

●インフラロジスティクス ▲グリーンルーム ■オートモーティブ ○エアポート △オートウォッシュ □電子機器



▶ 地域別売上高推移

● 日本

eコマース向けシステムの需要が拡大しており、大型の案件が増えています。自動車を含む製造業や、流通業への豊富な納入実績があり、サービス売上高比率が高い市場です。

● 北米

1983年に日系自動車メーカーの米国進出に合わせて現地法人を設立し、一般製造業・流通業向けおよび半導体生産ライン向けに事業の幅を広げました。2007年以降はM&Aにより空港向けシステムに進出。今後は、一般製造業・流通業向け、空港向けシステムの売上、収益性の向上を目指します。

● アジア

海外売上高の50%程度を占めており、とりわけ大きな市場は中国と韓国です。従来は、半導体・液晶生産ライン向け(中国・韓国・台湾など)、自動車生産ライン向け(中国・韓国・タイ・インドネシアなど)が中心でしたが、アジアの経済発展により、今後は一般製造業・流通業向けの需要が期待されています。

● 欧州

一般製造業・流通業向けシステム、空港向けシステムが中心です。

● 中南米

自動車生産ライン向けシステムが中心です。

(億円)

地域	年度	2016	2017	2018	2019	2020	
日本		1,106	1,324	1,276	1,550	1,639	
海外		2,101	2,724	3,318	2,886	3,099	
北米		766	955	991	996	1,389	
		1,070	1,505	2,046	1,634	1,440	
	アジ ア	中国	368	725	1,113	702	595
		韓国	322	508	567	435	433
		台湾	278	155	211	371	305
その他	100	115	153	125	104		
欧州		85	96	128	92	133	
中南米		40	61	60	62	41	
その他		138	106	92	99	93	
合計		3,208	4,049	4,594	4,436	4,739	
海外売上高比率		65%	67%	72%	65%	65%	

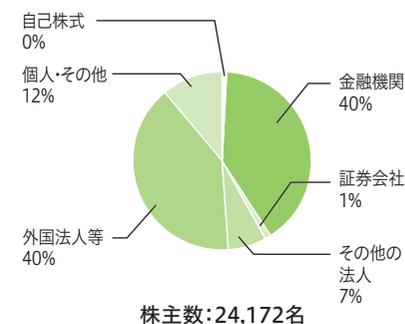
証券コード:6383
 単元株数:100株

年度	2016	2017	2018	2019	2020
1株当たり当期純利益	137	235	314	222	257
1株当たり純資産	1,142	1,493	1,738	1,850	2,040
株価純資産倍率(倍)	2.4	4.3	3.3	3.7	5.3
株価収益率(倍)	20.2	27.0	18.3	30.7	42.2
1株当たり配当金	42	70	90	75	80
配当性向(%)	31	30	29	34	31
期末株価	2,775	6,370	5,760	6,850	10,840
株主総利回り [※] (%)	148.5	341.7	314.3	375.7	590.2
TOPIX (配当込み)	114.7	132.9	126.2	114.2	162.3
期末時価総額(億円)	3,430	8,065	7,292	8,672	13,724
期末発行済株式数(株)	123,610,077	126,610,077	126,610,077	126,610,077	126,610,077
資本金(億円)	150	318	318	318	318

※2015年度末を基準として算出



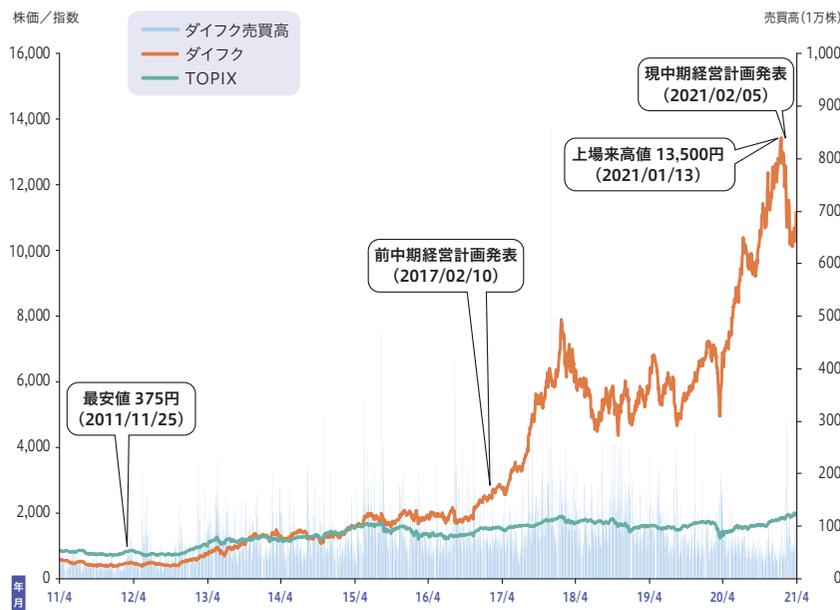
所有者別分布状況 (2021年3月31日現在)



▶ 利益配分に関する基本方針

ダイフクは、株主の皆さまに対する利益還元を最重要課題と位置づけています。現中期経営計画「Value Transformation 2023」では、2021~2023年度の3カ年平均で連結配当性向30%以上を目指します。

▶ 過去10年間の株価推移



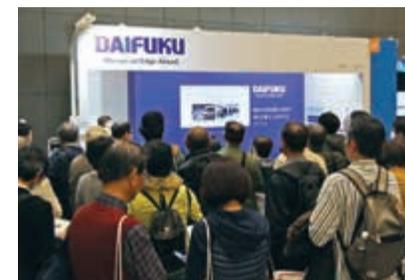
▶ IRイベント

ダイフクはIR活動の一環として「株主さま日に新た館見学会」の開催やIRフェアへの出展を行っています。

2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。



株主さま日に新た館見学会



東証IRフェスタ2019

ダイフクグループのWebサイトで財務・非財務情報を公開しています。(下表)

www.daifuku.com/jp

また、各事業サイトで製品・ビジネスについてご覧いただけます。

イントラロジスティクス

www.daifuku-logisticsolutions.com/jp

クリーンルーム

www.daifuku.com/pro/efa

エアポート

www.daifukuattec.com (英文)

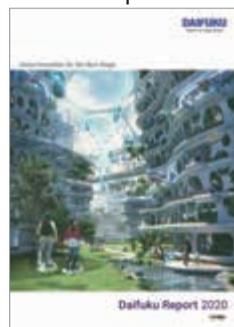


区分	名称	Web掲載	言語		
			日	英	中
IR	決算短信／決算説明資料	✓	✓	✓	
	有価証券報告書	✓	✓		
	株主総会招集通知	✓	✓	✓	
	株主通信	✓	✓		
	Daifuku Report (統合報告書)	✓	✓	✓	
コーポレート・ガバナンス	コーポレート・ガバナンス報告書	✓	✓	✓	
	ダイフク コーポレートガバナンス・ガイドライン	✓	✓	✓	
会社情報	会社案内	✓	✓	✓	✓
サステナビリティ	サステナビリティ情報	✓	✓	✓	
	ESGデータ・環境パフォーマンス・外部評価	✓	✓	✓	

株主総会招集通知



Daifuku Report



サステナビリティ報告

社会・環境への活動や取り組みを掲載した「サステナビリティサイト」の内容をPDF版でまとめています。
(www.daifuku.com/jp/sustainability/report)



▶ 基本的な考え方

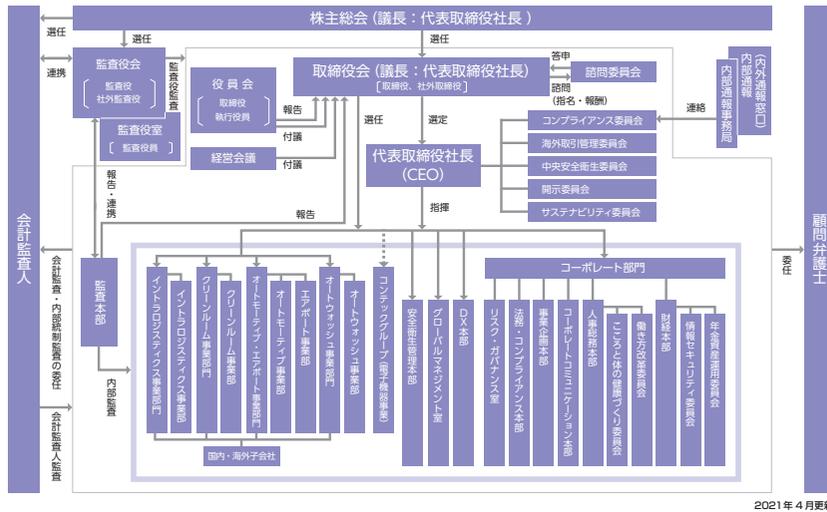
当社は、社外取締役4名を含む取締役会、および社外監査役3名を含む4名の監査役体制を整備して企業統治体制の充実を図っております。両者が密接に連携することにより、経営の監視機能は十分に機能する体制であると考えています。また、経営の意思決定の一層の迅速化を図るため執行役員制度を導入しています。

また、内部統制システムの確保が、コーポレート・ガバナンスの実効性を高め、ひいては企業の信頼性と業務の効率性・有効性を高めることを認識し、法令遵守・リスク管理・資産保全・財務報告の信頼性確保を図っていきます。

▶ コーポレート・ガバナンス体制の概要 (2021年6月25日現在)

組織形態	監査役会設置会社
定款上の取締役の任期	1年
取締役会の議長	社長
取締役の人数	9名(内、社外4名)
取締役会開催回数(2020年度)	定例12回、臨時5回
任意の委員会の有無	有り(指名、報酬に係る諮問委員会)
諮問委員会の構成員・議長	構成員:代表取締役1名以上、社外取締役1名以上を含めた3名以上 (2020年度はそれぞれ1名、4名) 議長:社外取締役
諮問委員会開催回数(2020年度)	6回
監査役的人数	4名(内、社外3名)
監査役会開催回数(2020年度)	6回
社外取締役および社外監査役の独立性判断基準	当社の基準を定め、株主総会招集通知などで開示しています。
取締役会の実効性評価	取締役・監査役へのアンケート調査を外部機関に委託。概要をコーポレート・ガバナンス報告書などで開示しています。
中長期業績に連動する取締役報酬	業績連動型の株式報酬制度である株式給付信託(BBT: Board Benefit Trust)を導入しています。

▶ コーポレート・ガバナンス体制図



「ダイフク コーポレートガバナンス・ガイドライン」

当社はガバナンス体制を整備・強化するため、「ダイフク コーポレートガバナンス・ガイドライン」を制定しています。継続的にPDCAサイクルを回し、コーポレート・ガバナンスの実効性改善に努めていきます。

(www.daifuku.com/jp/ir/policy/governance/guideline)

2021年度の主な組織改編ポイント

- ・オートモーティブ事業部門とエアポート事業部門を統合し、事業運営の効率化を図る
- ・DX(Digital Transformation)推進のためDX本部を設置
- ・グループガバナンス強化のため「リスク・ガバナンス室」を設置

▶ 社内取締役



代表取締役社長
社長執行役員
げしろう ひろし
下代 博
経営全般



取締役
専務執行役員
ほんだ しゅういち
本田 修一
Daifuku North America
Holding Company
President and CEO



取締役
常務執行役員
さとう せいじ
佐藤 誠治
クリーンルーム
事業部門長
クリーンルーム
事業部長



取締役
常務執行役員
はやし としあき
林 智亮
オートモーティブ・
エアポート事業部門長
オートモーティブ
事業部長



取締役
常務執行役員
のぶた ひろし
信田 浩志
イントラロジスティクス
事業部門長
イントラロジスティクス
事業部長

▶ 社外取締役



取締役
お ざわ よし あき
小 澤 義 昭

重要な兼職
桃山学院大学経営学部教授
大同生命保険株式会社
社外監査役



取締役
さか い みね お
酒 井 峰 夫

▶ 監査役



常勤監査役
き むら よし ひさ
木 村 義 久



社外監査役
あい はら りょう すけ
相 原 亮 介

重要な兼職
相原法律事務所弁護士



取締役
か どう かく
加 藤 格

重要な兼職
立教大学法学部客員教授



取締役
かね こ けい こ
金 子 圭 子

重要な兼職
アンダーソン・毛利・友常
法律事務所外国法共同事業
パートナー
株式会社ファーストリテイ
リング社外監査役
株式会社ユニコロ監査役
株式会社朝日新聞社
社外監査役



社外監査役
みや しま つかさ
宮 島 司

重要な兼職
朝日大学法学部・
大学院法学研究科教授
独立行政法人鉄道建設・
運輸施設整備支援機構
資産処分審議会会長
ヒューリック株式会社
社外取締役
株式会社ミクニ社外監査役
大日本印刷株式会社
社外取締役



社外監査役
わ だ のぶ お
和 田 信 雄

▶ 取締役会の構成

当社は、経営環境の変化や当社グループの経営計画等に基づき、取締役会の多様性について継続的に検討していきます。

取締役会のスキルマトリクス

	独立性 (社外)	職歴		専門性	海外 経験	男性○ 女性●	年齢
		企業経営	企業経営以外				
下代 博		当社グループ		当社事業に関する知見	○	○	63
本田 修一		銀行、 当社グループ		当社事業に関する知見	○	○	64
佐藤 誠治		当社グループ		当社事業に関する知見	○	○	61
林 智亮		当社グループ		当社事業に関する知見	○	○	62
信田 浩志		当社グループ		当社事業に関する知見	○	○	61
小澤 義昭	○		会計事務所、大学、 企業社外監査役および 補欠取締役（監査等委員）	財務・会計	○	○	67
酒井 峰夫	○	商社、 IT企業		財務・会計	○	○	70
加藤 格	○	商社、エネルギー開発企業	大学	法律	○	○	66
金子 圭子	○		商社、大学、法律事務所、 企業監査役および社外監査役	法律		●	53

常務執行役員

岸田 明彦	大福(中国)有限公司董事長 大福(中国)自動化設備有限公司董事長
堀場 義行	クリーンルーム事業部副事業部長 クリーンルーム事業部FEサービス本部長 小牧事業所長
上本 貴也	オートモーティブ・エアポート事業部門副事業部門長 エアポート事業部長
三品 康久	生産担当 DX本部長 イントラロジスティクス事業部生産本部長
田久保 秀明	コーポレート部門長 人事総務本部長

執行役員

西村 章彦	オートウォッシュ事業部門長 オートウォッシュ事業部長 株式会社ダイフクプラスモア代表取締役社長
権藤 卓也	イントラロジスティクス事業部エンジニアリング本部長
喜多 浩明	安全衛生管理本部長 滋賀事業所長
鳥谷 則仁	イントラロジスティクス事業部営業本部長
日比 徹也	コーポレート部門副部門長 財務本部長
山本 誠二	イントラロジスティクス事業部工事・サービス本部長
前田 勉	オートモーティブ事業部工事サービス本部長
寺井 友章	クリーンルーム事業部生産本部長

監査役員

齊藤 司	監査役室長
------	-------

安全

“安全はすべてに優先する”をスローガンに掲げ、社長直轄の安全衛生管理本部主導のもと、安全意識の向上に取り組んでいます。

- ・安全パトロールの実施
- ・安全体感道場の運営
- ・主要サプライヤー向け安全衛生トップセミナー開催 等



社長による現場安全パトロール

健康

全社横断組織である「こころと体の健康づくり委員会」が健康課題の特定・目標設定や、各種健康イベント、外部講師による講演会、研修を実施しています。

- ・ラインケア/セルフケアセミナー
- ・職場でエクササイズ
- ・運動セミナー
- ・ウォーキングイベント 等



オリンピック銅メダリストの寺川綾氏による講演

人材育成

一人一人が能力を高め、組織として力を発揮するため各種研修を実施しています。

- ・階層別研修
- ・選抜型研修：
 - リーダー養成研修
 - 女性リーダー育成研修 等
- ・グローバル人材育成制度
- ・海外従業員向け研修 等



女性リーダー育成研修

詳細はこちら www.daifuku.com/jp/sustainability/action/human-dignity

「DAIFUKU エコアクション」制度 (2012年度～)

従業員の環境活動に対してエコポイントを付与する制度です。付与したエコポイントに応じた金額を外部団体へ寄付します。2020年度は323万円寄付しました。従業員は獲得したポイント相当のエコ商品に交換できます。

	2019 年度	2020 年度
エコポイント (累計)	68,954 ポイント	41,108 ポイント
延べ参加人数	13,403 名	7,122 名

エコアクションイベント(一例)

メニュー	内容・目的
エコフィールドレポート	自然公園、環境施設などでの体験を通じて環境を学習
外来魚釣り大会	琵琶湖の生態系を守るため、外来魚を駆除
打ち水大作戦	都市部のヒートアイランド対策

生物多様性保全活動「結びプロジェクト」



水質浄化に役立つヨシ刈り活動など、環境貢献活動に多くの従業員が参加 (滋賀県内の伊庭内湖、西の湖で実施)

—— 社外評価 ——

環境省「モニタリングサイト1000」に登録

環境省が生物多様性の重要地域を認定し、5年間のモニタリングデータを共有する取り組み「モニタリングサイト1000」に滋賀事業所が2018年4月に登録されました。



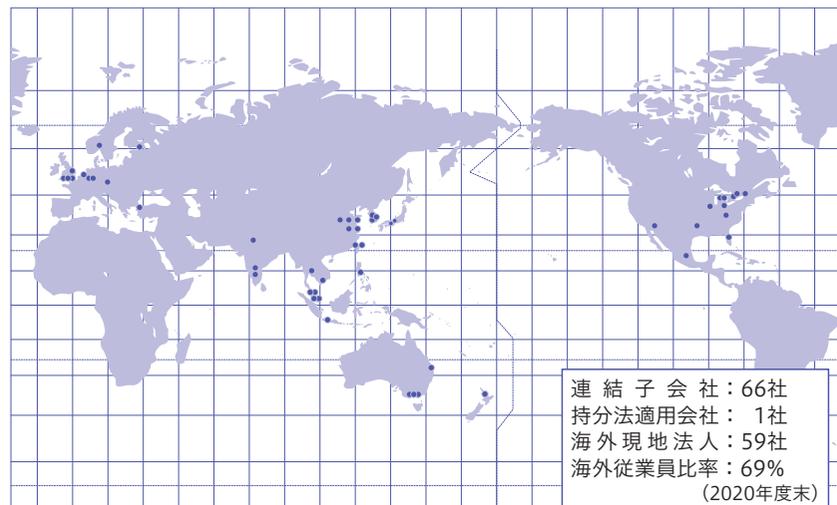
滋賀事業所には約50種類の希少種が生息 (写真左:ヤマトサンショウウオ、写真右:ハヤブサ)

「しが生物多様性取組認証制度」で「3つ星」を取得

滋賀県内に事業所を置く企業・団体が実施する生物多様性保全活動の取り組みを滋賀県知事が認証する制度で、当社が最高ランクの「3つ星」を取得しました。

詳細はこちら www.daifuku.com/jp/sustainability/environmental-management

26の国と地域で事業を展開



ダイフクの生産拠点



主要事業所

<p>本 社 〒555-0012 大阪府大阪市西淀川区御幣島3-2-11 TEL:06-6472-1261(代)</p>	<p>東京本社 〒105-0022 東京都港区海岸1-2-3 汐留芝離宮ビルディング TEL:03-6721-3501(代)</p>
<p>滋賀事業所 〒529-1692 滋賀県蒲生郡日野町中在寺1225 TEL:0748-53-0321(代)</p>	<p>小牧事業所 〒485-8653 愛知県小牧市小牧原4-103 TEL:0568-74-1500(代)</p>

営業・サービス拠点 全国約60カ所

海外支店

チェコ支店	サントペテルブルク支店
ドイツ支店	イスタンブール支店
フィリピン支店	イギリス支店

国内子会社

株式会社コンテック	株式会社岩崎製作所
株式会社ダイフクプラスモア	Daifuku Airport Technologies Japan
株式会社ダイフクビジネスサービス	株式会社
株式会社ダイフク・マニュファクチャ	株式会社スカラベアーアビエーション
リング・テクノロジー	グループ・ジャパン

北中米

Daifuku North America Holding Company
Novi, MI, U.S.A.

Daifuku America Corporation

- **Main Office & Plant**
Reynoldsburg, OH, U.S.A.
- **Carlisle Forging Plant**
South Carolina
- **Other offices**
Indiana, Kentucky, Michigan, Tennessee

Jervis B. Webb Company

- **World Headquarters**: Novi, MI, U.S.A.
- **Boyne City Manufacturing Plant**
Michigan
- **Harbor Springs Manufacturing Plant**
Michigan

Elite Line Services, Inc.

Carrollton, TX, U.S.A.

Daifuku Cleanroom Automation America Corporation

- **Main Office**: Chandler, AZ, U.S.A.
- **Test Center & Office**: Oregon
- **Other Office**: Texas

欧州

Daifuku Europe Ltd.

Milton Keynes, U.K.

Daifuku Europe GmbH

- **Main Office**
Moenchengladbach, Germany
- **Denmark Branch**: Copenhagen, Denmark
- **Sweden Branch**: Helsingborg, Sweden
- **UK Branch**: Milton Keynes, U.K.

アジア・オセアニア

BCS Airport Systems Pty Limited

Hallam, VIC, Australia

BCS Logistics Solutions Pty Limited

Hallam, VIC, Australia

Wynright Corporation

- **World Headquarters**
Hobart, IN, U.S.A.
- **Innovation Center**: Illinois
- **Other offices**
Florida, Indiana, Kentucky
Michigan, Utah
- **Other plant**: Texas

Contec Americas Inc.

- **Main Office**: Melbourne, FL, U.S.A.
- **Other Office**: Illinois

Daifuku Canada Inc.

Mississauga, Ontario, Canada

Jervis B. Webb Company of Canada, Ltd.

Hamilton, Ontario, Canada

Daifuku Airport Technologies Canada Inc.

Montréal, QC, Canada

Elite Line Services Ltd.

Toronto, Ontario, Canada

Daifuku de México, S.A. de C.V.

Querétaro, Qro., México

Jervis B. Webb Company, Ltd.

Milton Keynes, U.K.

Daifuku Logan Ltd.

- **Main Office**: Hull, U.K.
- **France Branch**: Ivry-sur-Seine, France

Daifuku Self Services Technologies AS

Oslo, Norway

Scarabee Aviation Group B.V.

Hoofddorp, The Netherlands

BCS Infrastructure Support Pty Limited

Hallam, VIC, Australia

Intersystems (Asia Pacific) Pty Limited

Murrarie, QLD, Australia

大福 (中国) 有限公司

中国・上海

大福 (中国) 物流設備有限公司

- **本社**: 中国・上海松江
- **分公司**: 広州、深圳
- **事務所**: 長沙、成都、虹橋、南京、蘇州、杭州

大福 (中国) 自動化設備有限公司

- **本社**: 中国・江蘇省常熟
- **分公司**: 北京、広州、上海、天津、武漢、長春、重慶
- **事務所**
常熟沿江、福州、南沙、泰達、鄭州

大福自動搬送設備 (蘇州) 有限公司

- **本社**: 中国・江蘇省蘇州
- **分公司**: 深圳

康泰克 (上海) 信息科技有限公司

- **本社**: 中国・上海
- **分公司**: 北京

Daifuku India Private Limited

- **Main Office**: Haryana, India
- **Other offices**
Bengaluru, Mumbai

ForgePro India Private Limited

Karnataka, India

Vega Conveyors and Automation Private Limited

Hyderabad, India

P.T. Daifuku Indonesia

- **Main Office**: Jakarta, Indonesia
- **Deltamas Office**: Bekasi

Daifuku Intralogistics Vietnam Co., Ltd.

Ho Chi Minh City, Vietnam

Daifuku Korea Co., Ltd.

- **Main Office / R&D Center**
Incheon, Korea
- **Plant**: Incheon

Clean Factomation, Inc.

- **Main Office**
Gyeonggi-do, Korea
- **Asan Plant**
Chungcheongnam-do, Korea

Hallim Machinery Co., Ltd.

Gyeonggi-do, Korea

Daifuku (Malaysia) Sdn. Bhd.

Selangor D.E., Malaysia

BCS Integration Solutions Sdn. Bhd.

- **Main Office**
Kuala Lumpur, Malaysia
- **Factory**
Negeri Sembilan, Malaysia

Daifuku Oceania Limited

Auckland, New Zealand

Daifuku Mechatronics (Singapore) Pte. Ltd.

Techplace 1, Singapore

Singapore Contec Pte. Ltd.

Techplace 1, Singapore

台灣大福高科技設備股份有限公司

- **本社・工場**: 台湾・台南
- **支社**: 新竹
- **工場**: 台中

台灣康泰克股份有限公司

台湾・新北

Daifuku (Thailand) Ltd.

- **Main Office & Plant (Pinthong)**
Chonburi, Thailand
- **Other office**: Bangkok
- **Chonbri Plant**: Chonburi

マテハン業界誌

月刊マテリアル・フロー	mf-p.jp
月刊ロジスティクス・ビジネス	www.logi-biz.com
Modern Materials Handling (米国マテリアルハンドリング誌)	www.mmh.com
ダイフクが加入する主な団体	
日本物流システム機器協会 (JIMH)	www.jimh.or.jp
日本ロジスティクスシステム協会 (JILS) ・年に一度「物流システム機器生産出荷統計」 を調査・公表しています。 (本統計は、輸入品やサービスを含みません)	www.logistics.or.jp

世界のマテリアルハンドリングシステム サプライヤー トップ20

2020年 順位	会社名 ()内は親会社	2020年売上高 (100万USドル)	本社所在地	上場
1	ダイフク	4,540	日本	✓
2	Dematic (KION)	3,226	米国(ドイツ)	(✓)
3	Schäfer	3,120	ドイツ	
4	Vanderlande (豊田自動織機)	2,100	オランダ(日本)	(✓)
5	Honeywell Intelligated (Honeywell)	2,018	米国(米国)	(✓)
6	村田機械	1,490	日本	
7	Knapp	1,450	オーストリア	
8	Beumer Group	1,400	ドイツ	
9	Material Handling Systems	1,050	米国	
10	TGW Logistics Group	1,000	オーストリア	
10	Siemens Logistics	1,000	ドイツ	
12	WITRON Integrated Logistics	855	ドイツ	
13	Swisslog (KUKA (美的集団))	646	スイス(ドイツ(中国))	((✓))
14	Kardex	466	スイス	✓
15	Bastian Solutions (豊田自動織機)	405	米国(日本)	(✓)
16	Elettric 80	354	イタリア	
17	System Logistics	262	イタリア	
18	DMW&H	214	米国	
19	v Niestore Systems	192	ドイツ	
20	SAVOYE	185	フランス	

出典：米国 Modern Materials Handling 誌

世界最大級のマテハン・ロジスティクス総合展示場「日に新た館」。最新のマテハンシステム・機器をはじめ、ロジスティクス関連企業の製品、150種類・400点を揃え、実際の動きをご覧いただけます。

1994年の開館以来、世界80以上の国・地域から延べ49万人を超えるお客さまにご来館いただきました。

館内では専任スタッフによる引率案内(日本語、英語、中国語、韓国語に対応)を行っています。おもてなしの心を持ってお迎えします。

日に新た館

〒529-1692
滋賀県蒲生郡日野町中在寺1225
ダイフク滋賀事業所内

アクセス

JR米原駅、JR近江八幡駅から
シャトルバス



施設概要

- ・建物面積 6,049m²
- ・延床面積 1万9,482m²
- ・開館時間 AM9:00~PM5:00
- ・開館日 月曜日~金曜日(祝祭日を除く)
- ・お申し込み ご予約はWebサイトをご利用ください(完全予約制)。
www.daifuku.com/jp/showroom/hiniaratakan
- ・お問合せ 0120-074-854

